

## 2011 年度サラウンドの日体感視聴会報告

DHT サラウンドサウンド部会主査 / パイオニア (株)

小谷野 進司

3月11日に発生した東日本大地震につきましては被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

今回の震災は各方面に多大な被害を及ぼし、日常生活から経済活動まで広範囲な影響を及ぼしました。当業界に於きましても、生産、販売、流通に被害を受けた企業もあり、開催が危ぶまれる中で実施されたサラウンドの日体感視聴会ですが、幸いにも会員企業や関連団体のご協力により、多くの方々にサラウンドやホームシアターの楽しさを体験して頂くことができました。

### 1. 「サラウンドの日」について

JEITA と日本オーディオ協会は、サラウンドサウンドやホームシアターの普及、啓発に向けて活動を行ってまいりましたが、一般の方々に対しての認知を高めるために、2008年に5.1chに因んで5月1日を「サラウンドの日」として制定しました。以来、4月、5月を中心に「サラウンドの日体感視聴会」イベントとして、会員企業やサラウンド関連団体、放送事業者等により全国各地で様々な体験会を開催しています。



サラウンドの日シンボルマーク



体感視聴会ポスター

### 2. 実施概要

2011年度は震災の影響から、ショールームの一時閉鎖やイベント自粛の動きがあり、どこまでの規模を維持できるか懸念がありました。さらに、例年5月連休中に開催されているNHKの「渋谷DEどーも」会場でのホームシアター体験コーナーが開設されず、例年5000人以上の来場者が期待されただけに残念なことになりました。このため、NHK制作のサラウンド体験デモディスクの提供が行われず短時間でサラウンドの魅力を知らしめる効果的なツールが使えない状況と

なりました。しかし、DEG ジャパンからは昨年につき DEG ジャパンアワード受賞作品から 3 作品の使用許諾を頂き、各会場でデモソースとして活用することが出来ました。このような状況下で 8 社、4 団体の参加に加えパイオニア、ヤマハ、オンキョーの 3 社による合同体験会が初めて開催されるなど、サラウンドの日体感視聴会開催期間中、各会場合計で延べ 5000 名を越える方々にサラウンドやホームシアターを体験頂きました。この数字は昨年の NHK を除く一般来場者数を大幅に上回っています。

参加企業・団体	実施日	開催場所
パイオニア	4月末～5月31日 5月26日	パイオニアプラザ銀座
ソニー	4月23日～5月29日	ソニービル銀座 ソニーストア大阪 ソニーストア名古屋
パナソニック	5月7, 8, 14, 15日	パナソニックセンター大阪
パナソニック電工	4月中旬～5月31日 5月28, 29日	汐留ショールーム
ヤマハ	5月14日 5月21日 5月22日	名古屋 東京 大阪
ヤマハスタインバーグ	5月25日 5月27日	ヤマハ大阪事業所 旧ヤマハ渋谷店
D&Mホールディングス(デノン)	5月13日	デノン銀座音楽倶楽部
名古屋芸術大学	5月12日	名古屋
ヤマハ・パイオニア・オンキョー合同	5月22日	大阪ヤマハ研修センター
エムズシステム	4月29日～5月2日	新富町本社
サイデラ・パラディソ	5月2, 9, 16, 23, 30日	神宮前スタジオ
神戸電子専門学校	4月29, 30日	神戸
国立音楽院	5月1日	三軒茶屋

各会場実施状況



＜パナソニックセンター大阪会場＞  
ホームシアター体験会



＜ソニーストア大阪会場＞  
サラウンドの日体感視聴会



各会場の参加者からは

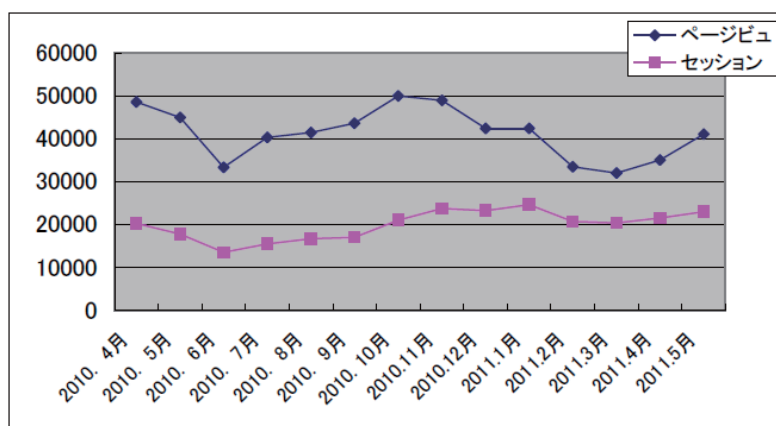
- ・「サラウンド」「5.1ch/7.1ch」という言葉の意味がよく理解できました (30代男性)
- ・7.1chのデモ映像がすごかった。まるでその場にいるかのような感覚になった (30代女性)
- ・ピュアオーディオ筋だったが、マルチチャンネルにも興味を持った (50代男性)
- ・フロントサラウンドでも、十分に臨場感を感じる (40代男性)
- ・初めてサラウンド音楽を聞きました。音楽自体の立体感がとても興味深かったです。(20代女性)
- ・音の世界にこんなに魅き込まれた経験は初めてでした。サラウンドにはまってしまいそうです!! (20代女性)
- ・爆発の時に、本当に部屋が振動しているようで、サラウンドの迫力がすごいと思いました! (20代女性)

などの声が寄せられました。

このように開催前の危惧とは裏腹に各会場とも多くの参加者を得て、熱気のこもった体験会を催すことができました。

### 3. ホームシアターサウンド

ホームシアターを広く知って頂くことを目的に 2010 年 4 月より従来の surround.jp を全面改定したホームシアターサウンド (<http://hometheater-s.jp>) を立ち上げ、コンテンツの充実に合わせてきました。Web でのアクセス数の多さがサイトの人気の指標となりますが、開設以来 40000 ページビュー、20000 セッション数を維持し、Google では「ホームシアター」の検索で上位 20 に入ってきております。しかし、人気サイトとしてはさらに多くのアクセス数を確保することが求められています。コンテンツについては「今月のおすすめソフト」をソフト会社の協力を受け毎月更新、「ホームシアターを作る」のコーナーではホームシアター初心者に対して機器選定の指標となる情報の提供やメーカーリンクによる機器検索の利便性の提供、さらに、JEITA SS 専門委員会と JAS SS 部会各委員による「コラム」の連載、「音を 10 倍楽しむ」や「豆知識」コーナーの充実、放送事業者からのサラウンド番組情報提供、さらに SEO 対策や見やすさのためのレイアウト変更など、より使いやすい、使って頂けるサイトを目指し内容の充実に向けています。



アクセス数の推移

#### 4. サラウンドサウンド普及に向けて

以上のような活動を通じてホームシアターおよびサラウンドサウンドの普及拡大に努めておりますがまだまだ認知が不十分な現状があります。

日本オーディオ協会デジタルホームシアター委員会では、「デジタルホームシアター取り扱い技術者資格認定制度」(<http://www.jas-audio.or.jp/dht/>)を設けエンドユーザに向け正しいアドバイスが出来る人材育成を行っています。今後、資格取得者を通じて市場活性化が図れることを期待しています。

hometheater-s.jpについては初心者や新規ユーザーの取り込みを図るべく、ホームシアター関連の情報源として「見てもらえるサイト」を目指し、さらに内容を充実させる必要があります。また、メーカー、ソフト、放送、流通関係者に対してはさらなる協力をお願いし使いやすい機器の開発や、サラウンドコンテンツの充実、体験の場の提供等を充実し一般ユーザーへの普及を図ることが求められます。

7月24日以降の完全デジタル放送化を機会にさらなる市場拡大に向けた活動を行ってまいりますので皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

#### 筆者プロフィール

小谷野 進司 (こやの しんじ)

1952年生まれ。1975年東京電機大学電子工学科卒。

同年パイオニア(株)入社。

スピーカの設計、開発を経て、同社総合研究所にてオーディオ関連研究に従事。2005年よりオーディオの普及と教育活動を開始。

現在同社コーポレートコミュニケーション部広報企画課副参事。

趣味は合唱、お囃子。

